

# 令和5年度 事業報告

## I 概要

今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に緩和され、国内の社会・経済活動が徐々に回復していく中、私たち四日市市シルバー人材センターにおいても、通常活動への復帰を進めながら令和5年度事業を運営してまいりました。令和5年度は第5次中期計画の初年度の年であり、3年間の中期計画の達成を見据えた重要な年度でありましたが、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員・役職員が一丸となり目標に向かって精一杯の努力をいたしました。

その結果、令和5年度事業計画の目標値に対する実績は次の通りでした。

項目	目標値	実績
会員数	1,400人	1,318人
契約金額	856百万円	863百万円
就業率	90.0%	91.0%

今年度の目標値に対して「契約金額」と「就業率」は目標を達成することができました。また「会員数」につきましては、目標には届きませんでしたが、5年振りに前年度対比増加となりました。

令和5年度の主な取り組みは、次のとおりです。

### (1) 会員の拡大について

- ① 定例会説明会は、予定どおり第2水曜日と第4水曜日（あさけプラザ）の月2回実施し、年間の定例会説明会参加者は271名でした。また、センターでの随時入会説明実施者と育児就業体験講習での入会説明会実施者は計7名となりました。全体で参加者は、278名と前年度対比32名増加し、入会された方は167名でした。  
昨年度までは、サテライトオフィスでの入会説明会を随時行っていましたが、同オフィスの開場日数及び専従職員の変更に伴い、現在はセンター事務所への取次という形になっています。
- ② 入会説明会では説明終了後、センターの就業担当者が参加者の皆さんと面談し、具体的に就業先の紹介を行うことで参加者の就業意欲を高め、入会促進に繋がっています。
- ③ 三重県シルバー人材センター連合会主催の「育児就業体験講習」では、新しい就業先や生きがい、社会参加を求めて受講された非会員2名がお二人とも入会されました。
- ④ 毎月1回ハローワークで開催される「年金セミナー」に参加し、発言時間をいただいてシルバーのPRを行っています。出席者からの問い合わせもあり、入会に結びついています。

### (2) 就業機会の確保について

- ① 毎月10件～15件、就業機会創出委員会委員が三シ連実施の「令和5年度就業に関するアンケート」や四日市商工会議所作成の「企業情報」をもとに市内の企業を訪問し、シルバーのPRを行い受注依頼をしています。
- ② 前年度に続き、新規の民間企業の仕事を獲得するために四日市商工会議所の会員事業所（約4,000社）向けの広報誌にチラシの折り込みを年間3回実施し、就業機会の拡大に努めました。
- ③ ハローワークのイベントにセンターの就業担当者が出席し、参加企業の担当者とコミュニケーションを図ることで、就業機会の拡大に努めました。

### (3) 安全・適正就業の推進について

- ① 安全委員会（12回実施）及び拡大安全委員会（2回実施）において、事故発生状況の報告を行っています。さらに安全委員会では事故当事者から直接事故の状況を聴取し、詳細な状況把握をするとともに、改善点・再発防止策を当事者を含めて検討しています。
- ② 安全に関する施策として、「刈払機安全取扱講習会（3回実施）」、「安全運転講習会（1回実施）」、「安全標語の募集（36点の応募）」、「安全委員によるパトロール（18回実施）」、「安全就業だより（5回発行）」、「事故速報（12回発行）」を実施し、安全意識の向上並びに周知を図りました。

- ③ 「地区長・班長全体会議」、「剪定・除草職群全体集会」等において、安全委員会の活動報告を行い、広く安全意識の徹底を図りました。
- ④ 適正就業に関しては、全国シルバー人材センター事業協会作成のガイドラインに基づき、常に就業状況をチェックするとともに、三重県シルバー人材センター連合会と連携して、就業形態(請負・委任、派遣)の適否を検証しています。
- ⑤ 規定関係では、「作業別安全・適正就業基準」を改訂しました。ポイントをより詳細に且つ分かり易くするとともに、作業ごとの共通項目の統一や用語の見直し等を行いました。

#### (4) 地域活動の充実について

- ① 地区長・班長全体会議を実施(令和6年3月)し、事業状況報告や地区の課題等についての意見交換を行いました。
- ② ブロック会議・班長会議・地区別懇親会も各地区で積極的に実施され、コロナ禍の間自粛していた会員間の交流が活発になってきました。

#### (5) 情報発信の強化について

- ① 広報誌「虹の橋(年2回)」、「センターだより(年3回)」を会員向けに発行しました。タイムリーで有益な情報を発信するよう心がけています。これらはホームページでも閲覧でき、広く市民の方々の目にも触れています。また、「虹の橋」は新入会員募集案内とともに各地区市民センターへの配架も行っており、シルバーの広報に一役買っています。
- ② 女性部を中心に、「エキサイトバザール四日市2023」や「大四日市まつりおどりフェスタ」に参加し、シルバーのPRを積極的に行いました。また、エキサイトバザールの収益金は四日市市社会福祉協議会に全額寄付しています。
- ③ 「広報よっかいち」、「四日市ホームニュース」、「四老連いきいきだより」に新入会員募集の広告を掲載しました。また、四日市商工会議所の機関紙に仕事募集の折り込みチラシを入れました。その他、ホームページでもシルバーの情報発信を積極的に行っています。
- ④ 令和4年度に当センターが、四日市南警察署の「ハンドサインキャンペーンモデル事業所」に四日市管内で最初に指定され、今年度は同署主催の「横断歩道の正しい渡り方指導」、「交通安全運動の出発式」等に参加し、新聞報道もされ、シルバーのPRに役立っています。

#### (6) 情報収集の強化について

- ① 全国シルバーにおける四日市市シルバーの位置づけ。(令和4年度末)  
令和4年度末現在、全国で、団体数は1,340団体、会員数 約68万2千人(前年度比▲0.7%)、受注件数 約304万件(同▲1.6%)、就業実人員 約55万2千人(同▲0.3%)、就業延人員 約6,316万人(▲0.5%)、契約金額 約3,110億円(同+1.8%)となっています。  
一方、当センターは、会員数 1,312人(前年度比▲3.4%)、受注件数 12,162件(同▲2.9%)、就業実人員 1,188人(同▲2.6%)、就業延人員 約14万1千人(同▲2.4%)、契約金額 約832百万円(同+0.6%)となりました。  
当センターでは契約金額以外の項目で前年割れとなりましたが、これは、全国的な傾向と一致しています。全国的にみても、会員数や就業人員の減少が大きな問題となっています。  
次に全国順位で見ると、会員数は全国110位から114位、契約金額は全国52位から53位へと、残念ながら両項目ともわずかに後退しました。ただ、いずれも高水準で推移しており、当センターの安定した事業運営が示されています。要因としては、四日市市の高い経済力、公共との良好な関係とともに、何より会員の皆さまが熱意を持って就業していただいていることが、高い全国順位にも現れており、深く感謝申し上げます。
- ② 他のセンターとの交流。  
令和5年12月11日、愛知県の西尾市SCが視察研修に訪れ、「子育て支援事業」、「介護事業・生活支援」、「デジタル化」等、お互いの取組について活発に議論を交わし情報交換を行いました。  
また、令和6年1月29日・30日の両日、役員視察研修として岐阜市SCと豊橋市SCを往訪予定でしたが、同時期に四日市市SC事務局にて複数の新型コロナ罹患が発生したため、大事を取って訪問を中止しました。日を改めて訪問を予定しています。

## 令和5年度事業活動の総括(次年度への課題)

### ① 会員数の減少並びに高年齢化に伴うオーバーワーク

今年度は会員数が前年度対比増加しましたが、平成最終年度である平成30年度から今年度までの対比では会員数が147名減少、就業実人員も96名減少しています。一方で契約金額は、同期間で74百万円増加しました。

また、会員の年齢別分布では、今年度は75歳以上の会員が52%を占めており、平成30年度から今年度までで12%増加をしています。

以上のことから、会員の皆さまの一人あたりの契約金額が増加していることがわかります。もちろん契約単価の上昇要因もありますが、やはり、皆さまに過度なご負担を強いていると思われます。さらに、会員の高年齢化も進み、今年度夏期の猛暑を思い返しますと、健康への影響が心配されます。

今後は、就業人員、就業時間に配慮した適正な就業環境づくりが必要になります。

### ② 消費税インボイス制度導入や物価高に伴う経営負担の増加

令和5年10月から導入されたインボイス制度により、会員に支払う配分金に含まれる消費税額分については仕入税額控除ができなくなり、センターに新たな消費税額負担が発生しました。初年度は半年分で約6百万円の負担増となりました。当初3年間は、経過措置として80%の仕入税額控除は可能なため、インボイス対策として、令和3年度から特定資産の基金積立の他、四日市市の公共事業を受注する際に、特別事務費として加算措置を認めて貰うことが制度化されました。

また、昨今の急激な物価高も相まって、センターの財政状況は非常に厳しいものになっています。

今後は、適正な受注価格交渉、経費削減等により、会員が安心して就業できる環境づくりが求められます。

### ③ 事務のデジタル化への対応

センターの事務処理については、「就業報告書」をはじめ、紙ベースの割合がまだまだ高いのが現状です。デジタル化の必要性については、十分に理解しながらも手つかずの状態でした。業務のデジタル化は、多くのシルバーですでに始まっています。デジタル化をすることによって、効率化が推進でき、また、ミスの減少にも繋がります。

もちろん、直ちに100%デジタル化は無理な話です。可能な方から徐々に比率を上げていきたいと考えています。そのために、スマホ教室や、具体的な入力方法の勉強会等を開催していく予定です。

## 令和6年度からのこれらの課題に対する対応

これらの課題に対応するためには、何より会員・役員・職員の「コミュニケーション」が大切です。個々の課題をひとつひとつ丁寧にご説明し、全員が理解の上、諸問題の解決に向かっていきたいと考えています。また、それには会員の皆さまの声をよく聞くことが必要だと思います。

『会員・役員・職員のコミュニケーション強化』を主要テーマとし、全員が一体となって諸問題解決に努めます。

令和5年度の主な実績は次のとおりです。

項 目		令和5年度	令和4年度	対前年度比 (%)		
会員数	男 性 ( 人 )	882	878	100.5		
	女 性 ( 人 )	436	434	100.5		
	計 ( 3月31日現在 )	1,318	1,312	100.5		
就 業 状 況	受託件数 (件)	請 負 ・ 委 任	公 共 市 役 所	447	425	105.2
			公 共 そ の 他	299	265	112.8
			民 間 事 業 所	3,376	3,408	99.1
			一 般 家 庭	6,958	7,576	91.8
			介護保険事業	789	766	103.0
			総合事業(サービスA)	647	792	81.7
			上 記 以 外	5,522	6,018	91.8
			独 自 事 業	14	2	700.0
		小 計	11,094	11,676	95.0	
	派 遣 事 業	555	486	114.2		
	合 計	11,649	12,162	95.8		
	就業実人員 (人)	請 負 ・ 委 任	1,051	1,056	99.5	
		派 遣 事 業	148	132	112.1	
合 計		1,199	1,188	100.9		
就 業 延日人員 (人)	請 負 ・ 委 任	125,675	126,423	99.4		
	派 遣 事 業	16,378	14,703	111.4		
	合 計	142,053	141,126	100.7		
就 業 率 ( % )		91.0%	90.5%	100.6		
配 分 金 及 び 賃 金 ( 千 円 )		679,334	657,070	103.4		
契 約 金 額 (千円)	請 負 ・ 委 任	公 共 市 役 所	249,050	239,743	103.9	
		公 共 そ の 他	160,560	132,230	121.4	
		民 間 事 業 所	212,714	224,620	94.7	
		一 般 家 庭	139,222	142,274	97.9	
		介護保険事業	16,228	18,864	86.0	
		総合事業(サービスA)	5,867	5,610	104.6	
		上 記 以 外	117,127	117,800	99.4	
		独 自 事 業	114	29	393.1	
	小 計	761,660	738,896	103.1		
	派 遣 事 業	101,550	93,067	109.1		
合 計		863,210	831,963	103.8		

## II 主な活動状況

### 1 会員の拡大

#### (1) 会員の入・退会

##### ① 入会説明会

(単位:人)

説明会の種別	参加者数	入会者数
センターでの入会説明会	148	92
あさけプラザでの入会説明会	123	70
随時入会説明会	5	3
育児就業体験講習	2	2
JRサテライトオフィス	0	0
合計	278	167

##### ② 会員数の推移

(単位:人)

年度	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員数
令和元年度	265	170	201	1,434
令和2年度	220	160	183	1,411
令和3年度	255	143	196	1,358
令和4年度	246	140	186	1,312
令和5年度	278	167	161	1,318

#### (2) 会員の資質向上

新規入会者研修を開催し、接遇マナー・各種ハラスメント・安全就業について注意喚起をしました。

(単位:人)

開催日	参加者数
4月21日(金)	11
6月26日(月)	20
8月28日(月)	10
10月30日(月)	12
12月26日(火)	18
令和6年 2月27日(火)	24
合計	95

## 2 就業機会の確保

### (1) 独自事業(パソコン教室)の推進

開催回数	13
------	----

### (2) 高齢者活躍人材確保育成事業

公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会が実施する技能講習と就業体験を、会員の拡大に活用しました。

高齢者活躍人材確保育成事業 技能講習・就業体験・セミナー (市内開催分)		
講習名	実施日	受講者数(人)
育児のおしごと体験講習	11月6日～11月9日	6

## 3 安全適正就業の推進

### (1) 安全委員会の活動

- ① 今年度は重点施策として「刈払機・飛石事故の撲滅」と「重篤事故の撲滅」を掲げました。  
刈払機の事故は8件発生し、うち飛石事故は5件でした。刈払機の事故は前年対比減少しましたが、8件の事故は決して少ない件数ではありません。ルールを守り、更なる減少を目指します。重篤事故については皆さまのご努力により0件でした。引き続き安全第一で事故ゼロを目指します。
- ② 取組強化事項として、事故原因の追究と再発防止を狙いとした事故報告会の開催、作業別安全・適正就業基準の改定、地域ボランティア活動における安全対策の強化、暑さ対策としてヘルメットの種類の検討等を行いました。皆さまからのご意見を参考に、できることから一つ一つ対策を立てて参ります。
- ③ 安全就業啓発事業として、会員から安全標語を募集し、優秀作品を広報誌で発表しました。  
応募総数は36点で、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選3点を選び、最優秀作品はセンターや公共施設の入り口に掲示した他、就業報告書等に印刷し会員への安全啓発に利用しました。応募者数が減少傾向にあり、今後は事前告知強化等による応募者数増加施策が求められます。

【最優秀作品】『これくらい この思い込みが事故を呼ぶ』

### ④ ヒヤリ・ハット推進状況

項目	令和5年度	令和4年度
体験事例報告件数	10	21

⑤ 事故の発生状況

(単位:件)

項目	年度	令和5年度	令和4年度
傷害事故		16	7
賠償事故	草刈機の飛び石等	8	9
	その他	8	4
車両事故	住居と就業場所との移動中	1	0
	就業中	5	4
合計		38	24

(2) 健康づくりの推進

会員の健康への自覚を高め、健康診断受診を促進するため、受診の有無をセンターに報告する取り組みを本年度も行いました。回答数も前年に比べ増加しました。

項目	令和5年度	令和4年度
送付数	1,346	1,337
回答数	682	496
回収率	50.7%	37.1%

4 就業能力の向上

職群班ごとにテーマを決めて取り組んだ研修の実施状況は次のとおりでした。

職群班	研修内容
生活支援	「生活110番事業」と連携して生活支援サービス班長会議を2ヶ月に1回開催し、提供するサービス向上を図るための意見や案を話し合いました。また、意識の向上を図るため除草班・剪定班の全体会議や安全適正就業推進大会にも参加しました。
介護	訪問介護(介護保険)事業では、要介護、要支援状態にある高齢者に対して適切な支援を提供できるよう、介護ヘルパーリーダー会議とヘルパー勉強会を開催しました。ヘルパー勉強会は年間11回実施し、講師を招いて「家庭でもできる食中毒予防」の講義を受ける等、訪問時の就業スキルの向上に努めました。
子育て	毎月1回、ピッコロメンバー6名とサポーター2名による「ピッコロ調整会議」を開催し、子供たちの成長や問題行動についての情報共有と事故防止のための対策を協議し、子育て知識技能の向上を図りました。三ッ連主催の「育児のおしごと体験講習」では2名の方が新たに入会されました。また、2月には、外部講師を招いて「フォローアップ研修」を開催し、子どもの成長と関わりについての知識を深めました。
除草	技術向上と安全作業向上の徹底を図るため、3月と9月に「刈払機安全取扱講習会」を実施し、33名が受講しました。また、1月の外部講師による講習会では8名が受講しました。

## 5 普及啓発の推進

様々な活動が再開されました。

啓発活動	実施日	場所	参加者数
エキサイト四日市・バザールへの出店およびパンフレットの配布	4月8日・9日	諏訪新道周辺	41
春の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布	5月16日	イオン四日市尾平店、四日市北店の店外	33
大四日市まつりの「おどりフェスタ」へ参加	8月5日	三滝通り周辺	43
大四日市まつり後の清掃ボランティア	8月7日	諏訪新道周辺	26
秋の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布	9月26日	イオン四日市尾平店、四日市北店の店外	33
三重県シルバーの日のチラシ配布	9月25日 ～11月24日	各地区22ヶ所	—
地域ボランティア	随時(春・秋)	各地区22ヶ所	818
清掃ボランティア	12月7日	近鉄四日市駅周辺	133
清掃ボランティア	3月7日	南部丘陵公園	104

## 6 財政基盤の確立等

法人の運営状況を詳らかにするため、予算の執行状況を毎月理事長に報告しました。また、毎月事業実績を理事会に報告するとともに、定款の規定に基づき理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況を理事会に報告しました。

市に当センターの経営状況等を説明し、補助金の確保にも努めました。



## 7 組織の強化等

### (1) 地域班活動の充実

コロナ禍の間は開催が制限されてきたブロック会議・班長会議でしたが、コロナの第5類への緩和に伴い、特に班長会議は開催数も増加し、当センターの運営状況の伝達や、会員拡大への協力依頼、地域の課題整理に努められるようになってきました。

項 目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ブロック会議	1	4	2
班 長 会 議	58	56	36

### (2) その他の取り組み

理事会をはじめ各部会・委員会、女性部の活動がコロナの緩和とともに正常に戻りつつある中、将来を見据え安定した強固なセンターを目指して「公共就業者の終業年齢の引き上げ」や「公共就業サポーター制度の創設」等を行い、夏期の酷暑対策の一助として来年度から「暑さ対策補助事業」の立ち上げを検討しました。

また、会員互助会と連携し「ボランティア保険」の拡充を行いました。

## 事業報告の附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する、附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。